

平成 30 年 6 月 26 日現在

機関番号：32689

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2014～2017

課題番号：26380539

研究課題名(和文)複数企業間国際合弁の背景と帰結に関する研究

研究課題名(英文)Study of Determinants and Outcomes of Multi-Partner International Joint Ventures

研究代表者

入山 章栄(Iriyama, Akie)

早稲田大学・商学大学院(経営管理研究科)・准教授

研究者番号：00721820

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,800,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、3社以上の企業が国際間で共同出資して合弁会社を設立する「複数企業間国際合弁(以下、MP-IJV)」が組まれるメカニズムを分析する。具体的にはCoalition理論を応用し、「相対的に力の弱い企業が、潜在的に『2対1』の関係を作り出すために両国パートナーを含めた3社合弁を好む」「このようなMP-IJVでは事後のガバナンス変化が起きやすい」という理論仮説を提示・検証する。東洋経済新報社データベースよりMP-IJVを抽出して統計分析を行った結果、仮説はほぼ支持された。論文は、主要学術誌Global Strategy Journalに投稿され、現在は再提出のため修正中である。

研究成果の概要(英文)：This study examines drivers of formation of multi-partner international joint venture (MP-IJV) which is invested by more than three different parent firms across countries. Based on coalition theory, I hypothesize that (1) a focal firm who has a low power against its foreign partner prefers to forming a MP-IJV with another partner who is from the same home country as the focal firm's so as to overcome its weak position, and (2) such an MP-IJV is more likely to experience ownership share changes subsequently. I collected the data of "Japanese Firms Overseas Investment" and collected the sample of MP-IJV. The statistical analysis provided supportive results for my hypotheses. Based on the results I wrote the paper and submitted it to Global Strategy Journal (GSJ), one of the premier journals in the international business field. I received "revised & resubmit" of this paper from GSJ. I am now revising the paper for resubmission.

研究分野：国際経営論

キーワード：国際経営 経営戦略

1. 研究開始当初の背景

近年、3社以上の企業が国際間で共同出資をして合併会社を設立する、「複数企業間国際合併 (MP-IJV)」の研究が注目されている。しかし既存研究は「MP-IJV は成功率が非常に低い」とする一方で、「ではなぜ現実には多くの企業で MP-IJV が好まれるのか」を説明できていない。

2. 研究の目的

本研究は、Coalition Theory 及び Faultline Theory を MP-IJV に応用し、「なぜ MP-IJV が好まれるのか」を探求する。具体的には「(1)相対的に力の弱い企業が、潜在的に『2対1』の関係を作り出すために同国パートナーを含めた3社合併を好む」、「(2)このような MP-IJV では事後のガバナンス変化が起きやすい」という理論仮説を提示し、実証研究する。本研究は国際経営研究で明らかにされなかった根本の問いを探求するもので、貢献は大きい。

3. 研究の方法

本研究では Coalition 理論を応用し、「相対的に力の弱い企業が、潜在的に『2対1』の関係を作り出すために両国パートナーを含めた3社合併を好む」「このような MP-IJV では事後のガバナンス変化が起きやすい」という理論仮説を提示・検証する。科研費を基にして、東洋経済新報社データベースより MP-IJV を抽出して統計分析を行った。

4. 研究成果

統計分析を行った結果、仮説はほぼ支持された。その結果を基に論文を執筆し、主要学術誌 Global Strategy Journal に投稿され、現在は再提出のため修正中である。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計 45 件)

The roles of closure and selloff in corporate restructuring.

Ushijima, T. & Iriyama, A.

Journal of the Japanese and International Economies
2015.12

Exploring and managing the “innovation through outsourcing” paradox

Benoit, A., Kishore, R. & Iriyama, A.

Journal of Strategic Information Systems
2015.12

The impact of origins of reverse technology transfer on MNC home-country product development

Hsu, S. & Iriyama, A.

Thunderbird International Business Review.
2016.2

Lost in translation or lost in your neighbor's yard: The moderating role of leverage and protection mechanisms for the MNC subsidiary technology sourcing – performance relationship

Hsu, T.-H., Iriyama, A. & Prescott, J.

Journal of International Management.
2016.3

Competitive actions in non-market and resource market spaces: Impact of informal and foreign competitor threats in emerging markets

Iriyama, A., Kishore, R. & Talukdar, D.

Strategic Management Journal
2015.7

Playing dirty or building capability? Corruption and HR training as competitive actions to threats from informal and foreign firm rivals.

Iriyama, A., Kishore, R. & Talukdar, D.

Strategic Management Journal
2016

以下、入山章栄単著

世界標準の経営理論 05: 競争の型を見極める重要性 「ポーターVS.バーニー論争」に決着はついている

ハーバードビジネスレビュー

2015.1

世界標準の経営理論 06: 理論ドリブンと現象ドリブン 経営学はけっして「現実の後追い」ではない

ハーバードビジネスレビュー

2015.2

世界標準の経営理論 07: 情報の経済学 「悪貨が良貨を駆逐する」のは、ビジネスの本質である

ハーバードビジネスレビュー

2015.3

世界標準の経営理論 08: エージェンシー理論 人が合理的だからこそ、組織の問題は起きる

ハーバードビジネスレビュー

2015.4

世界標準の経営理論 09:取引費用理論 (TCE) 100年前も現在も企業のあり方は「取引コスト」で決まる
ハーバードビジネスレビュー
2015.5

世界標準の経営理論 10:ゲーム理論 この世の大部分は、ゲーム理論で説明できる
ハーバードビジネスレビュー
2015.6

世界標準の経営理論 11:ゲーム理論 我々は人を「無償」で信じるか、それとも「合理的な計算」で信じるか
ハーバードビジネスレビュー
2015.7

世界標準の経営理論 12:リアル・オプション理論「不確実性を恐れない」状況は、自らの手でつくり出せる
ハーバードビジネスレビュー
ダイヤモンド社
2015.8

世界標準の経営理論 13:カーネギー学派と企業行動理論 経営者の教訓は、けっして精神論では終わらない
ハーバードビジネスレビュー
ダイヤモンド社
2015.9

世界標準の経営理論 14:組織学習・イノベーションの理論 「両利き」を目指すことこそ、イノベーションの本質である
ハーバードビジネスレビュー
ダイヤモンド社
2015.10

世界標準の経営理論 15:組織学習・イノベーションの理論 「組織の記憶」は全員で共有すべきか、個人が独占すべきか
ハーバードビジネスレビュー
ダイヤモンド社
2015.11

世界標準の経営理論 16:組織学習・イノベーションの理論 論知の創造を導く「マイルドフルネス」を高める法
ハーバードビジネスレビュー
ダイヤモンド社
2015.12

世界標準の経営理論 17:SECI理論とナレッジ・ベースト・ビュー 世界の経営学に「野中理論」がもたらしたもの
ハーバードビジネスレビュー
ダイヤモンド社
2016.1

世界標準の経営理論 18:進化理論 現場のDNA進化は「ルーティン」で決まる
ハーバードビジネスレビュー
ダイヤモンド社
2016.2

②世界標準の経営理論 19:ダイナミック・ケイバリティ企業の「変わる力」は組織に宿るのか、個人に宿るのか
ハーバードビジネスレビュー
ダイヤモンド社
2016.3

②世界標準の経営理論 20:リーダーシップの理論 半世紀を超える研究が行き着いた「リーダーシップの境地」
ハーバードビジネスレビュー
ダイヤモンド社
ダイヤモンド社
2016.4

③世界標準の経営理論 21:モチベーションの理論 半世紀を超えて辿り着いた 知識時代のモチベーションとは
ハーバードビジネスレビュー
ダイヤモンド社
2016.5

④世界標準の経営理論 22:職場環境と感情の理論 感情のメカニズムを理解してこそ、組織は動き出す
ハーバードビジネスレビュー
ダイヤモンド社
2016.6

⑤世界標準の経営理論 23:認知バイアスの理論 個人の認知の歪みは、組織で乗り越える
ハーバードビジネスレビュー
ダイヤモンド社
2016.7

⑥世界標準の経営理論 24:意思決定の理論 意思決定の未来は、「直観」にある
ハーバードビジネスレビュー
ダイヤモンド社
2016.8

⑦世界標準の経営理論 25:センスメイキング理論 「未来を作り出せる」は、けっして妄信ではない
ハーバードビジネスレビュー
ダイヤモンド社
2016.9

⑧世界標準の経営理論 26:エンベデッドネス理論 ソーシャル・ネットワークの本質はいまも昔も変わらなし
ハーバードビジネスレビュー
ダイヤモンド社
2016.10

⑳世界標準の経営理論 27:「弱いつながりの強さ」理論 「スモールワールド」現象は、世界でさらに加速する
ハーバードビジネスレビュー
ダイヤモンド社
2016.11

㉑世界標準の経営理論 28:ストラクチャル・ホール理論 境界を超える「H型人才」が、世界を変えていく
ハーバードビジネスレビュー
ダイヤモンド社
2016.12

㉒世界標準の経営理論 29:ソーシャル・キャピタル理論 リアルとデジタルの ネットワークで働く、真逆の力
ハーバードビジネスレビュー
ダイヤモンド社
2017.1

㉓世界標準の経営理論 30:社会学ベースの制度理論 我々は「常識という幻想」に従うか、活用するか、塗り変えるのか
ハーバードビジネスレビュー
ダイヤモンド社
2017.2

㉔世界標準の経営理論 31:資源依存理論 小企業が大企業を押さえ、飛躍する「パワーのメカニズム」
ハーバードビジネスレビュー
ダイヤモンド社
2017.3

㉕世界標準の経営理論 32:組織エコロジー理論 変化の時代にこそ必要な「超マクロ」の時間軸
ハーバードビジネスレビュー
ダイヤモンド社
2017.4

㉖世界標準の経営理論 33:エコロジー・ベースの進化理論 生態系の相互作用が企業進化を加速する
ハーバードビジネスレビュー
ダイヤモンド社
2017.5

㉗世界標準の経営理論 34:レッドクイーン理論 競争が激化する世界で、競争すべきは競争相手ではない
ハーバードビジネスレビュー
ダイヤモンド社
2017.6

㉘世界標準の経営理論 35:戦略とイノベーションと経営理論 現象が融合する時代には、理論が重層化する
ハーバードビジネスレビュー
ダイヤモンド社
2017.7

㉙世界標準の経営理論 36:組織行動・人的資源管理と経営理論 「人事の未来」に転換をもたらす5つの潮流
ハーバードビジネスレビュー
ダイヤモンド社
2017.8

㉚世界標準の経営理論 37:ガバナンスと倫理と経営理論 「よい世界をつくること」が、同期する時代が来た
ハーバードビジネスレビュー
ダイヤモンド社
2017.9

㉛世界標準の経営理論 38:グローバル経営の理論 「グローバル経営に理論はない」という事実が示す未来
ハーバードビジネスレビュー
ダイヤモンド社
2017.10

㉜世界標準の経営理論 39:アントレプレナーシップと経営理論 「アントレプレナーシップは起業から解放される」
ハーバードビジネスレビュー
ダイヤモンド社
2017.11

㉝世界標準の経営理論 40:テクノロジーと歴史と経営理論 テクノロジーが企業・組織・人に及ぼす影響は数千年を経ても変わらない
ハーバードビジネスレビュー
ダイヤモンド社
2017.12

㉞世界標準の経営理論 41: ビジネスと経営理論 現代の経営理論はビジネスを説明できない
ハーバードビジネスレビュー
ダイヤモンド社
2018.1

㉟世界標準の経営理論 42:経営理論の組み立て方 ロジックの賢人ほど「人とは何か」を突き詰める
ハーバードビジネスレビュー
ダイヤモンド社
2018.2

④世界標準の経営理論 43:世界標準の実証分析 ビジネスの実証分析は想像以上に身近で、とてつもなく深い
ハーバードビジネスレビュー
ダイヤモンド社
2018.3

〔学会発表〕(計 2 件)

"Connect the dots, but deliberately: Intrapersonal diversity in function and genre in creative teams,"(Best paper award nominee in OMT division, 2016 Academy of Management annual conference).

Nagayama, S. and Iriyama, A

Proceedings of the Seventy-sixth Annual Meetings of the Academy of Management
2016.8

Competitive actions in non-market and resource market spaces: Impact of informal and foreign competitor threats in emerging markets

Iriyama, A., Kishore, R. & Talukdar, D.

Academy of Management Annual Conference,
2015

〔図書〕(計 2 件)

世界の経営学者はいま何を考えているのか

英知出版

2012.11

ビジネススクールでは学べない世界最先端の経営学

日経B P社

2015.11

〔産業財産権〕

出願状況(計 件)

名称:

発明者:

権利者:

種類:

番号:

出願年月日:

国内外の別:

取得状況(計 件)

名称:

発明者:

権利者:

種類:

番号:

取得年月日:

国内外の別:

〔その他〕

ホームページ等

6. 研究組織

(1)研究代表者

入山 章栄 (IRIYAMA Akie)

早稲田大学・大学院経営管理研究科准教授

研究者番号: 00721820

(2)研究分担者

()

研究者番号:

(3)連携研究者

()

研究者番号:

(4)研究協力者

()